

みなさんの笑顔をお届けします…

カメラレポート

毎月15日号は、市民のみなさんの季節の話題や出来事などを主にお伝えしています。



スキー場に感謝の気持ちを込めて久々野小がボランティア清掃 《4月23日》



昨シーズンお世話になったスキー場をきれいにしようと、久々野小学校5・6年生が、ひだ舟山スノーリゾートアルコピアの清掃活動を行いました。この活動は小学校の伝統行事で、毎年ゲレンデの雪が解けたこの時期に行われます。児童はグループに分かれ、ゲレンデに落ちていたペットボトルや空き缶、手袋といったゴミなどを熱心に収集。感謝の気持ちと環境の大切さを再認識しました。

小児救急医療を考える市民フォーラム 《4月18日》



現在、高山赤十字病院の救急外来の約4割を小児患者が占めていますが、そのほとんどが入院の必要がない軽症であり、医療のコンビニ化が危ぐされています。こうした中、救急外来の現状や小児受診のあり方を考えるフォーラムが市民文化会館で開催され、市民、医療関係者、行政の代表が今後の救急医療のあり方について話し合いました。

高原を訪れる春 水芭蕉が満開 美女高原みずばしょう祭り 《4月27日》

朝日地域の美女高原で「みずばしょう祭り」が開かれ、多くの家族連れで賑わいました。訪れた人は穏やかな青空のもと、満開の水芭蕉が咲く遊歩道を散策したり、美女ヶ池で魚釣りやボートを楽しみました。

また今年は、合併記念公園整備の一環で、展望台が新設され、訪れた人は美女高原の一味違った眺望を満喫しました。



貴重な町並は地域で守る 伝建地区で初期消火訓練 《4月26日》



市では、国の文化財である「下二之町大新町伝統的建造物群保存地区」での無電柱化事業にあわせて、自主防災用消火栓、可搬ポンプなどを順次整備しています。昨年度、下二之町の南側を整備したことに伴い、鳩峯車組町並保存会の方々^{きゅうほうしゅう}が消火設備の取扱い訓練を実施しました。保存会の倉田会長は「地域を守るため、これからも訓練を重ねたい」と語っていました。